

こんにちは

会社訪問記

あらゆる産業分野を支える
サポートインダストリー。

愛知県鍍金工業組合

(名古屋市中川区)

愛知県下でメッキ関連業務を行う法人企業が組織する愛知県鍍金工業組合に伺い、組合の歴史と現状等を石井副理事長にお話していただきました。

—いつ頃この組合は設立されたのですか。

石井副理事長（以下石井に略）『昭和6年に設立しました。この間60周年を迎えたところです。当初は鶴舞に事務所がありました。昭和42年に現在地に移転いたしました。』

—現在、組合員は何社加盟されていますか。

石井『208社です。組合員の6割程は名古屋市内にあります。また、貴協会と同じように全国鍍金工業組合連合会という親団体もあります。』

—先程おっしゃられましたが、組合員は戦前から操業されている方ばかりなんですか。

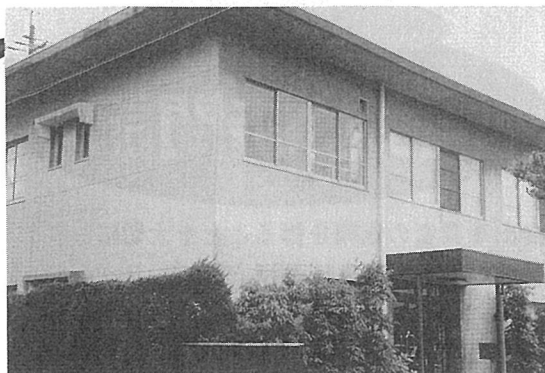
石井『そうではなく、戦前からやっている業者と昭和40年代にトヨタ自動車さんが挙母市（現豊田市）で向上を設立された頃にやりはじめた業者の2極に分かれています。ですから、愛知県のメッキ業界には自動車関係が多いですね。三河地域の組合員はほとんどその関係です。』

では、組合事業についてお話していただけませんか。

石井『当組合には技術・環境対策・総務・近代化・労働・広報と6つの委員会があり、それぞれ活動を行っています。廃棄物関係では環境対策委員会が担当しています。この委員会は、例えば新しい規制が出された場合、素早く規制に対応できるように業界の実態をデータにまとめて全国組織に提示して、暫定基準期間の設定と暫定基準値を出してもらえるよう求めるなど活発に動いていますね。』



石井副理事長



社名/愛知県鍍金工業組合 所在地/名古屋市中川区丸米町二丁目117の3
代表者/渡辺辰巳 設立/昭和6年 職員/3名 TEL/052(352)0161
事業所/組合事務所

また、相談・指導なども行っています。技術委員会などは新技術・新製品の紹介や電気メッキの技能工の技能検定試験も行っています。さらには愛知県から補助金を得て新技術開発も行っています。全国レベルでは通産省から開発資金をいただいで、いま新しいメッキ装置の開発なども行われています。高速度メッキ装置や自動ラックラッキング装置、省スペースで多種少量生産に対応するメッキ設備を開発するため、現在3つの実証プラントをつくり研究しているところです。リサイクル関係も行っています。私自身、全国組織の環境対策委員長を務めていまして、混合スラッジからの有価金属回収を研究していたこともあります。』

—最後に、当協会では支部活動を昨年からは展開してきましたが、貴組合の支部ではどんな活動を行っていますか。参考までに聞かせてください。

石井『それぞれ支部長のもと、1月か2月に1回は必ず支部会を開き、適切な維持管理を行うための勉強会などさまざまなテーマでお互いの資質向上を図っています。』



事務所内